

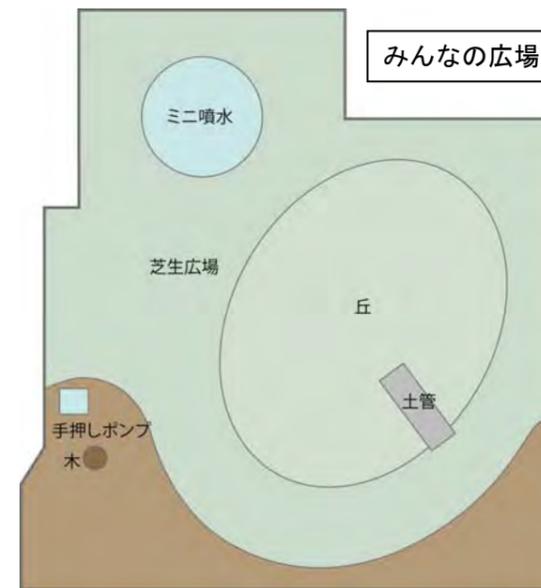
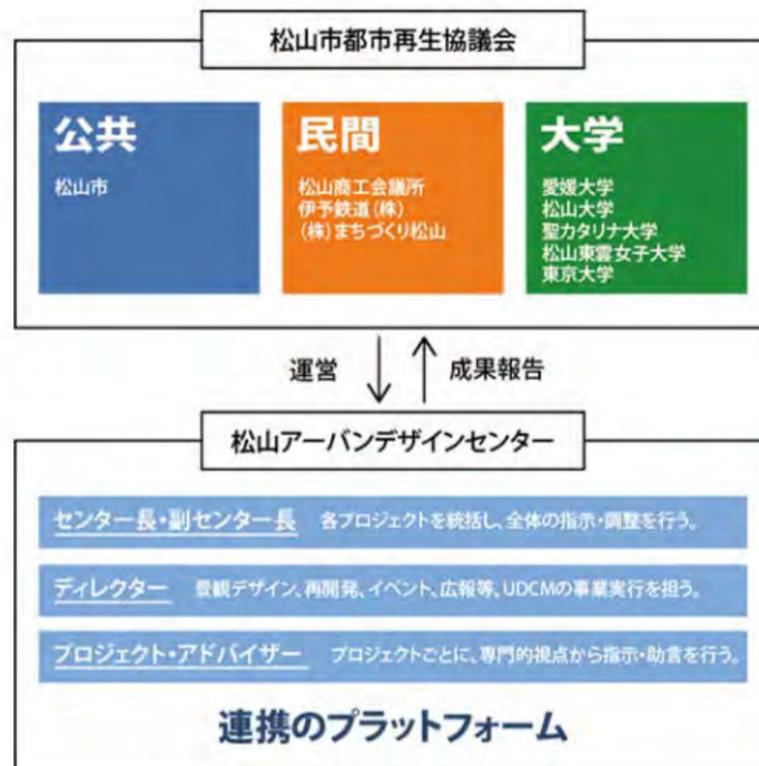
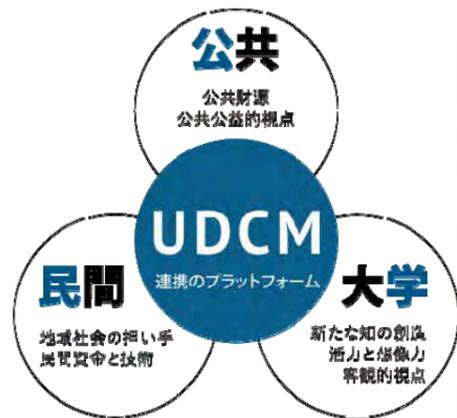
具体的な取組事例について

地域まちづくりの中心拠点 — 「まちづくり組織」と「拠点施設」の事例

【関連する取組項目：4-1①地域団体等の枠を越えた情報・意見交換の場となる組織の設立、②まちづくりの中心拠点となる場所づくり】

○ 「松山アーバンデザインセンター」と「みんなのひろば」「もぶるテラス」

- ・ 中心市街地の活性化に向けて、民間（市民および事業者）、大学、行政で連携のプラットフォームを組成。
- ・ 拠点施設は民間の商業ビルの2階にあり、まちづくりの専門家が常駐している。
- ・ 同ビルの1階に多目的スペースである「もぶるテラス」、通りをはさんで元駐車場だった場所に「みんなのひろば」を開設。施設の運営は愛媛大学のアーバンデザイン研究部門が担っている。それぞれの施設は大学や企業の社会実験の場にもなっている。
- ・ 有料で占有利用も可能としている。



■みんなのひろば
コインパーキングだった場所を、子どもが遊べ、大人が語り合える広場として整備した。計画段階から市民参加ワークショップを開催、場所選定から整備内容まで話し合った。



■もぶるテラス
以前、空き家だった場所を多目的スペース兼、人が集える休憩所に整備。まちづくり情報の発信や、まちづくり研究会や会議などに使われる。ライブラリーも併設



■学ぶ
学生から社会人まで、幅広い世代が集い、将来のまちづくりの担い手を育成する、アーバンデザインスクールを開講。市民参加型の学習プログラム。



■創る
地域再生のための魅力的な都市デザインに取り組んでいる
出典：松山アーバンデザインセンターHP、みんなのひろばプロジェクトHP

多機能な生活サービス施設の事例

【関連する取組項目：3-1①生活サービスや多様な活動の拠点の形成、3-2①空き家や空き施設の有効活用】

○ 高齢者向け施設と交流拠点、マーケット等の一体型施設「地域密着型特養グランドオーク百寿」

- 泉北ニュータウンの近隣センター（小学校区ごとに開設された商業施設と地域会館、教育施設等が集積した生活の拠点）のスーパー跡地に、「脱施設」「地域に根ざした」をテーマとして、社会福祉法人が開設した特別養護老人ホーム。
- 建物は、4階建てで、2～3階が入居者の居室となるが、1階には地域住民も利用できる地域交流スペース、カフェ「オーク カフェ」、買い物スペース「オーク マーケット」があり、地域住民が集う、開かれた施設となっている。
- マーケットは、地域のボランティアが運営している。また、“駄菓子”も販売しており、地域の子どもらも集う仕掛けがなされている。
- 施設内では、企業等によりセミナーやワークショップなど、多様な世代向けのイベント等が開催されている。



施設内で、ワークショップやアート教室、パスタ体験（スターバックス）、美容体験・健康チェック（薬局、地域包括支援センター）健康講座（大学教授・理学療法士）、大阪中央卸売市場直通の出張販売など、多様な団体等による多様なイベントを開催



■オーク カフェ

パスタこだわりのコーヒーと管理栄養士によるランチなど、本格的なカフェ



■オーク マーケット

地域ボランティアが運営するスーパーで、野菜から駄菓子まで販売



■共用生活室

出典：グランドオーク百寿HP、グランドオーク百寿 facebook

空き地を暫定的に活用した、活動スペースの事例

【関連する取組項目：3-2①空き家や空き施設の有効活用】

○ 深谷ベース（埼玉県深谷市）

- ・区画整理中の遊休地を利用し、まちの賑わいを創出するスペースを創出。
- ・コンテナは基礎も含めて移動可能（区画整理事業の進行に合わせて、短期間で移設し、事業を継続できる）。
- ・市民参加型の縁台づくりなどのワークショップを開催。一番おいしい郷土麺料理 N-1グランプリのイベントの会場としても使われている。



・縁台製作 WS



・イベント会場として活用



・全景



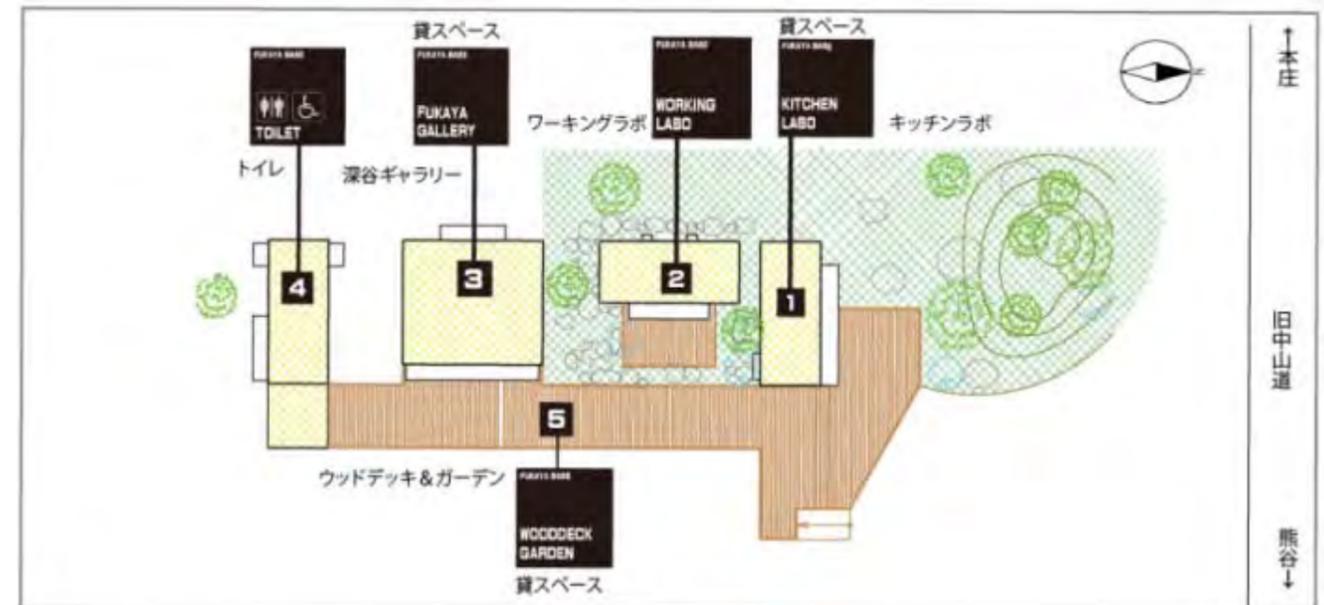
出典：深谷市HP



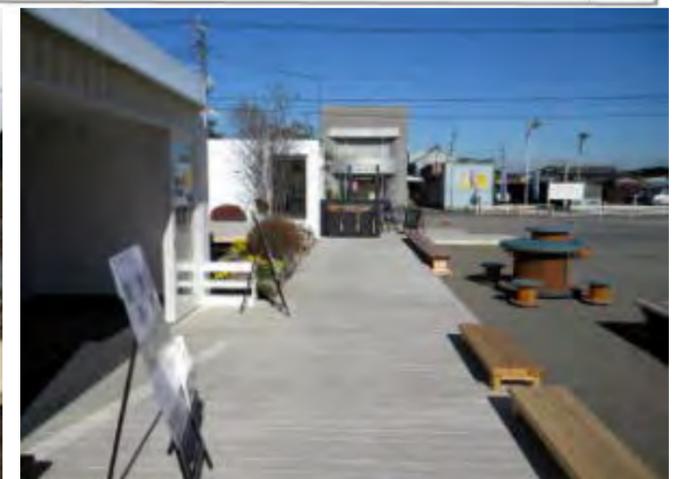
■ワーキングラボ
深谷ベースのインフォメーションの場



■ミニキッチン（貸し出し対象）
会議、試食会、発表会などの場に使える。



■ふかやギャラリー（貸し出し対象）
コンテナ2棟連結の貸し出しスペース。



■ウッドデッキ&ガーデン（貸し出し対象）
青空のもと、イベントを開催でき、コンテナとセットで使うことも可能

空地（広場）・空き店舗を活用した、創業に向けたチャレンジ施設

【関連する取組項目：1-3⑤コミュニティビジネス等のできる環境づくり、3-1①生活サービスや多様な活動の拠点の形成、3-2①空き家や空き施設の有効活用】

○ 駅前チャレンジショップ（福岡県吉富町）

- ・町内での創業を支援するため、仮設コンテナ店舗によるチャレンジショップを開設。
- ・吉富駅の乗降客数は700名、駅構内・前には店舗が1軒もない。
- ・ロータリー広場の町有地に400㎡の一角にコンテナハウス（幅6m×奥行き2.5m×高さ2.5m）を1棟設置。（設置は約300万円、総事業費600万円）
- ・家賃は月5000円、最長3年間貸し出し可能。
- ・1店舗目が成功すれば、最大6店舗まで増やすことができる。



○ 空き店舗を活用したチャレンジショップ（泉佐野市）

- ・泉佐野市が、泉佐野駅前商店街の空き店舗を改修・活用し、チャレンジショップを開設。
- ・出店期間中の賃料は月額15,000円。（水道・光熱費の負担は不要）
- ・出店期間は原則3ヶ月。
- ・経営のプロからのアドバイスを得ながら、事業のノウハウを習得。
- ・泉佐野市は、「地方創生加速化交付金」を活用し、女性起業家ステップアップ事業として実施。現在、セルフケア店、ジェルネイル施術店の2店舗が営業中。



まずはお気軽にご相談ください。 **大募集!**

駅前チャレンジショップで創業してみませんか。

吉富町で自分のお店を持ちたい方を応援します

チャレンジショップとは

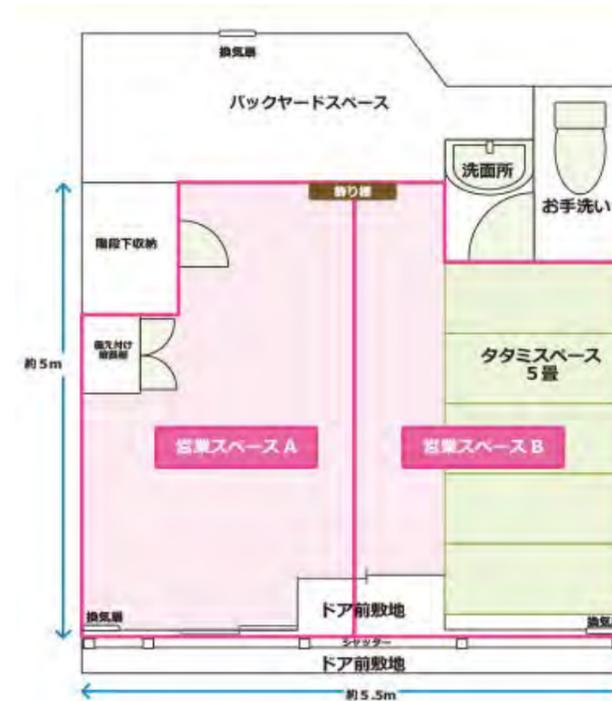
チャレンジショップのポイント

- 1. 家賃の好立地（駅前）でスタート
- 2. 家賃5,000円/月（2ヶ月間）
- 3. チャレンジショップ専用物件を確保します
- 4. 創業支援や経営ノウハウをアドバイスします

吉富町 TEL 0979-24-4073 FAX 0979-24-3219



出典：京築まるごとナビ、吉富町HP、miya-j.com



・店舗平面図



・セルフケア店



・ジェルネイル店

出典：「三根早苗の800名の女性起業家サポートブログ」、NPO法人泉州佐野にぎわい本舗

市民参加で、公園づくり、イベント・プログラムの企画などを行う公園の事例

【関連する取組項目：3-3④寺池公園の住民参加で再生・維持する、水辺と緑を楽しむ公園づくり】

○ 泉佐野丘陵緑地（泉佐野市）

- 計画段階から市民参加でつくられた大阪府営公園(平成 26 年開園)。
- 公園づくり、イベント・プログラム企画などを、ボランティア団体「パーククラブ」が実施している。
- パーククラブに入会するにはパークレンジャー養成講座を受講する必要がある。毎年 10~20 人が修了し、現在メンバーは 100 人以上となっている。
- 公園の基本計画策定後、平成 20 年から運営会議が発足。パークレンジャー養成講座は平成 21 年からはじまっている。なお、パーククラブは平成 22 年に設立された。



出典：泉佐野丘陵緑地 HP、<http://izumisano-kyuryo.jp/>

市民参加で、イベント・プログラムの企画などを行う公園の事例

【関連する取組項目：3-3③金剛中央公園のイベントや住民参加プログラムが行われる交流拠点づくり】

○ 大蓮公園（堺市）

- ・公募により集まった地域住民や有志メンバー等が大蓮公園や隣接する緑道などを活用した、住民参加型のイベント「泉北をつむぐ まちとわたしプロジェクト」を開催。
- ・初期は、ニュータウン内に眠るまちの魅力を再発見するワークショップを開催し、その後、泉北ニュータウン魅力発信プロジェクトとして、多目的な公園・緑地の使い方を提案・実践するイベントを開催。
- ・メンバーが、緑道でのヨガやピクニックを楽しむ「緑道ピクニック」、周辺地域とともにレモンの栽培と特産品づくり、街中でのレモンの木植樹等に取り組む「泉北レモンの街ストーリー」などのチームで活動。
- ・各チームらが集結し、ピクニック、体操、屋外カフェ、お箸づくり、ダンボール基地作り、地産地消グルメの販売、泉北産の竹を使ったアクセサリー作りなどの多様なプログラムのある一大イベントも開催。

■まちの住みかを楽しもう

まちの住みかを楽しもう
泉北のまちを楽しむ1日

2016.10.30 (SUN)
10:00 - 16:00
大蓮公園 芝生広場

泉北を楽しむ32のプログラム

泉北の魅力をぎゅっと詰め込んだプログラムは大蓮公園内の芝生広場で開催します。泉北ならではの緑道や芝生など豊かな自然の中で、走ったり、ヨガをしたり、レモンの育成園や竹のふんわりを使ったお弁当やカレーでお腹を満たしたり。泉北の魅力を見出し、楽しもう！



■緑道ピクニック

緑道ピクニック PICNIC in Ohasu Park 7/3 (日) 7:45-14:00

7:45 Running 7:45-8:15 (Good Morning 緑道 RUN!)

8:20 Exercise 8:20-8:50 (KaQila ~カキラー~)

9:00 Picnic Breakfast 9:00-12:00 (おにぎり船ごはんBOX)

9:00 Lotus cafe 9:00-14:00



■ネイバーフッド グランピング (ニュータウンでのまちなか公園キャンプ)

Neighborhood Glamping in Ohasu Park 2016.08.20(土)~21(日)

日 前：2016年8月20日(土) 13:45 ~ 21日(日) 10:00 (雨天中止)

会 場：大蓮公園芝生広場

参 費：テント1張り 2000円

食 費：大人1名 3500円 子ども(小学生以上)1名 1500円 未就学児無料

持 ち 帰：お好きなドリンク2種、各自使用する食器、テント一式の準備をしてください。

申し込み方法：ryokudopicnic@yahoo.co.jp までメールにて、参加者全員の氏名・年齢と代表の方の住所と電話番号(両者電話)を記載の上、8月10日までに申し込んでください。

定 員：20名(抽選)

Timetable

20 sat.

13:45 開会

14:00 食材配り

15:30 テント設置

17:00 夕食

19:00 夜の観望会(自由参加)

お風呂

20:30 サイレントシネマ上映

自由開帳

22:00 就寝

21 sun.

5:30 早朝緑道ラン・ウォーキング(自由参加)

6:00 朝食準備

7:00 朝食

9:00 テント片付け、公園清掃

10:00 解散

Menu

— 泉北ローカルの材料を使用した料理 —

Dinner

・精肉ビーフのローストビーフ

・大蓮特約シダファームの鶏肉を使ったローストチキン

・泉北産地産地産を使ったサイドディッシュ5種

・新山田パセリジュレのマッシュポテト

Breakfast

・大蓮特約シダファームの卵かけごはん

・サイレントシネマの任意ベーコン、ソーセージ

・三原台 Little Island のコーヒー

Access



出典：泉北をつむぐまちとわたしプロジェクト、堺市HP

学校の空き教室や校舎の転用

【関連する取組項目：3-2①空き家や空き施設の有効活用】

○ 空き教室の生涯学習ルームへの転用（埼玉県草加市）

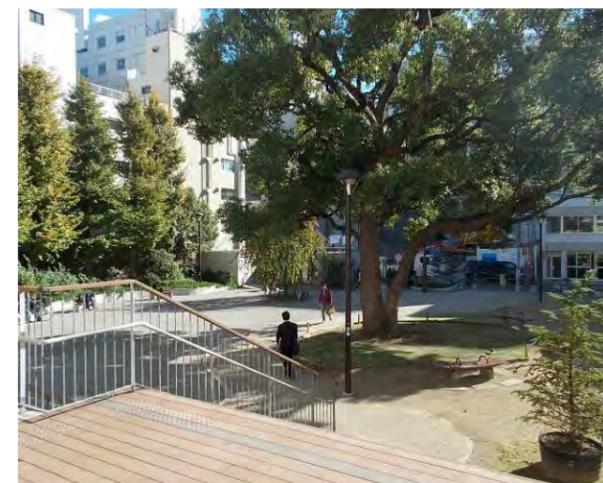
- 市の取組として、空き教室の一室を改修し、地域の高齢者のふれあいや生きがいをづくりの場、世代間交流の場「平成塾」として活用
- 「平成塾」では、編物・手芸、書道、舞踊などの多様なサークル活動を実施。
- 「平成塾」は、原則学校が開校している日・時間帯のみに活動し、電気、施錠等の管理は利用者が行う。ただし、鍵の管理は、学校が行い、教職員が見回りをを行う。



資料：文部科学省大臣官房文教施設施設企画部施設助成課「子供と地域を元気にする余裕教室の活用」

○ 小学校の校舎を転用したアートセンター — 3331 Arts Chiyoda（東京都千代田区）

- 廃校になった小学校の校舎と校庭をアートセンターに転用し、民間団体が運営している事例。
- アートギャラリー、アトリエ、オフィス、カフェなどがあり、展示会、ワークショップ等の文化活動に利用されている。
- 1階は地域に開放されたフリースペースとなっている。



地域と民間事業者が連携した空き家活用のしくみづくり

【関連する取組項目：2-2①空き家情報の把握や空き家所有者への情報支援などの取り組み】

○ 地域の空き家相談窓口・しくみの構築（兵庫県川西市）

- 川西市の郊外団地3団地（戸建て住宅地）において、民間事業者が国のモデル事業として、自治会・行政と連携した空き家相談窓口「空家ねっと」を設置。
- 3団地において持続可能な空き家対策の仕組みを構築し、団地内の管理不全空き家の抑制、空き家の流通・利活用の後押しをすること、地域と事業者をつなぐ体制づくりなどを目指し、取り組んでいる
- 窓口では、「貸したい」「売りたい」など、空き家に関する様々な相談受付を主として、自治会と連携した地域の空き家情報の集約、空き家対策セミナーの開催などを行っている。
- 相談者には、地域のリフォーム事業や不動産事業、管理代行業等を行う登録事業者を紹介。
- 現在は、窓口の運営を3団地の各自治会に移行することを目指し、検討中。



外観

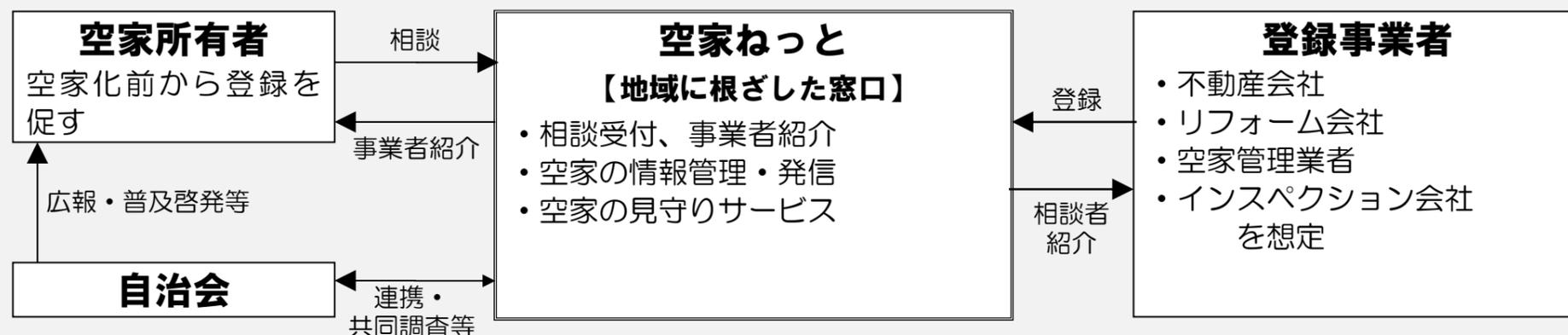


内観

■相談窓口

平成 27 年 2 月 8 日に、大和団地の「リフォームサロン川西」内に試行開設

■「空家ねっと」の仕組み



相談中の様子



平成 26 年度のセミナー（多田 GH）

大和団地・多田グリーンハイツ・清和台に
空家・住宅を所有されている方！！

国土交通省モデル事業による社会実験

空家に関する無料相談窓口
「空家ねっと」

住み替えをお考えの方、空き家をお持ちの方
お困りのことはありませんか？

「空家ねっと」は、空家の利活用や適正な管理の促進を目的に、活用方法の提案、事業者（リフォームや不動産などのプロ）の紹介等を行う無料の相談窓口です。お気軽にご相談ください。（相談は予約制です）

【連絡先】
TEL：080-2420-0940
Mail：kawanishi@jutaku-akiya.jp

パンフレット

空き家を活用した「居場所」

【関連する取組項目：1-3 自分らしくきらめく居場所づくり、3-2①空き家や空き施設の有効活用】

○ 戸建て住宅の空きスペースを活用した地域住民の“居場所”「25café」

- ・地域の店舗併用住宅の2階空きスペースを活用した、多世代の交流を目指した“みんなの居場所”となるフリースペース「25cafe」(他の空きスペースや空き家等を活用し、地域内に全4か所ある)
- ・空きスペースは無償で借り受け、自治会が主体となって運営。友人らとのおしゃべりや利用者によるイベント・教室等の開催の場ともなっている
- ・空きスペースの後片付けや使い方などは、ワークショップを開催し住民みんなで検討
- ・運営費用は、利用料(1人100円)を基本に光熱費や飲み物代に充てている



・住民ら主催のイベントの場として活用



・看板づくり等は住民ワークショップを開催

○ 戸建て住宅を活用した喫茶店兼オフィス

- ・築130年以上の古民家を活用した、近所の人々が集う喫茶店兼設計事務所のオフィス
- ・設計事務所が所有者から買い受け、設計事務所としてオープン。その後、地域で気軽に立ち寄りおしゃべりできる場として、町内会会長の奥さんが店長を務める喫茶店をオープン。
- ・設計前段階から大学の先生・学生やまちづくりプランナー、行政職員、近所の子どもなどによる参加型の改修を実施。
- ・若手農家による野菜販売や農村部の特産品試食会、近所の発明家のアイデア商品紹介など、喫茶以外でも多様に使われている。



25cafe
@ **GOOD CROP**

OPEN 月曜・火曜・金曜 10時～16時

活用企画 募集中!!

25cafe (ニコかふえ) では、皆さまのアイデアによる自由な使い方を募集しています。

例えば、

- ・趣味で作ったアクセサリーを売りたい!!
- ・子ども服などを交換するバザーをしたい!!
- ・絵画や写真の展覧会を開きたい!!
- ・〇〇教室を開きたい!!
- ・子どもに音の遊びを教えたい!!

など、広く地域住民に開かれたもので、地域の魅力創出に貢献するものをお待ちしています。

25cafe にアンケートを置いてありますので、ぜひご提案ください!

外観

利用スペース

利用時の様子 (10名以上も入れます)

< 使い方 7 箇条 >

- ① 使う時は、店主に一声を (鍵貸します)
- ② お互い譲り合いの心で
- ③ 原則、3名様以上のグループで使えます
- ④ 飲食持込はOK (出前もOK)
- ⑤ 持ってきた物はすべてお持ち帰りを
- ⑥ 消耗品 (コーヒー等) の補充は各自で (1階にあります)
- ⑦ 使用ルールをきちんと守りましょう

居場所の提供者募集中!!

25cafe (ニコかふえ) では、@関西圏芸、@GOOD CROP 以外にも、多世代交流・居場所づくりができる空き家・空きスペースを探しています。

ご提供いただける方は、自治会までぜひご連絡ください!

所在地 : 大和西1丁目11-5

スペース : 2階入って右側の居室

標準設備 : テーブル・イス、茶・コーヒーセット

利用料金 : 利用者1グループにつき300円 (ボックスにて回収)

※ 駐車場・駐輪場はありません (徒歩でご利用ください)



出典：みんなでつろう HP <http://www.tsukuro.org/>

・使い方ルール等をお知らせするパンフレット

自治会主体の多様な交流イベント・助けあいのしくみづくり

【関連する取組項目：4-1③地域一体となった祭りやイベントの開催、1-1①高齢者等の日常の暮らしの見守り、】

○ UR富田団地（大阪府高槻市）

- ・昭和46年～平成元年に完成した約2,600戸の大規模団地
- ・団地内では、自治会が主体となって、春にはお花見会、夏には夏祭り・お月見会、秋には敬老の集い・運動会、冬にはクリスマス会・餅つき・とんど焼きなど、四季折々の行事を開催。
- ・高齢者等が互いに助け合うしくみとして、地域通貨「うの花」や緊急連絡体制の構築等に取り組んでいる。
- ・地域通貨は、灯油運びなどのボランティアを行った方に対して配布され、地域の商店会全店で利用することができるしくみとなっている。
- ・大阪芸術大学の学生により、自治会に対して団地内でのアートイベント企画が提案され、古着を使ったこいのぼりアートなどの住民参加型のワークショップも行われている。



■ 2日間開催される恒例の夏祭り



■ 秋祭り



■ クリスマス会



■ こいのぼりワークショップ
団地集会所で持ち寄った古着でこいのぼりを製作。子どもたちの小学校入学を祝い、みんなで作ったこいのぼりをあげた。

出典：UR都市機構HP



■ 地域通貨
棟委員会の出席者やボランティア協力者（灯油を玄関先へ運ぶ、ゴミ出しのお手伝い等）に発行される地域通貨で、地域の商店会全店で利用可